



ちばなハイサイ子育てだより

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになったこの頃。昼夜の寒暖差はまだ少しありますが、お昼のポカポカな陽気が春を感じさせてくれます。また春と言えば、別れに出会いの季節になりますが、来月から子ども達は進級し、1つお兄さん、お姉さんになる喜びを、それぞれ感じています。

今月は今年度最後の月になりますが、今ある環境や周りの人達に感謝し、沢山の思い出を作っていけたらなと思っています。今月もどうぞよろしくお願致します。



簡単親子製作

～ころりんひな人形～ガチャガチャの容器でひな人形製作

★準備するもの

- ・ガチャガチャの容器
- ・色画用紙
- ・折り紙
- ・花紙
- ・ティッシュペーパー
- ・はさみ
- ・セロハンテープ
- ・のり
- ・両面テープ
- ・ペンやクレヨン



1. ガチャガチャの容器の外側を折り紙で包み、セロハンテープでとめる。



2. 数枚のティッシュペーパーを丸め、花紙で包んでセロハンテープでとめる。



3. 2を容器の中に詰め、両面テープで固定する。



4. 色画用紙で顔や扇子を切り取り、ペンやクレヨンで顔を描く。



5. 4のパーツを3の体に貼り付けたらできあがり！

ポイント！

- ・作り方2の体の部分は、花紙の代わりにくしゃくしゃにした折り紙を使っても作れる。
- ・作り方3では、できるだけふんわりと容器の中に詰めるところがポイント！
- ・そのまま飾るのももちろん、ちょっぴり突っついて、ゆらゆら揺れる様子を楽しんでもおもしろい♪

「先生に言うよ」「ママに怒られるよ」はNG！ 叱る時に言いがちな責任転嫁の言葉のデメリット

こんな言葉使ってない？叱る時に避けたい責任転嫁ワード

子どもを叱る時つい言ってしまう、責任転嫁の言葉。たとえばこんなものがあります。

- 「先生に叱られるよ」
- 「お店の人に怒られるよ」
- 「そんなことしたらママに怒られるからね」
- 「パパが帰ってきたら叱ってもらうから」
- 「怒られるよ」

怒っているのは今、その子に向き合っている方はずなのに、これでは「人のせい」にしてしまっています。無意識かもしれませんが、そんなつもりはないかもしれませんが、でも、子どもはその言葉をそのまま受け取ります。そうすると、いろんなデメリットが出てくるのです。

・怒られるよ」を使うと起きるデメリット

「怒られるよ」ばかりを使っていると、子どもだけでなく責任転嫁された人にも悪影響が及びます。

・叱られている本当の理由がわからなくなる

「誰かに怒られる」を多用すると、どうしてその行動をやめなければならないのかわからなくなります。「怒られるからやめる」「怒られるから言うことを聞く」と思ってしまふからです。これでは本当に伝えたいことが伝わりませんよね。

さらに、これがひどくなると「怒られなければやってもいいんだ」と考える可能性もあります。これでは、叱った意味がありませんよね。保護者のかたも、子どもにそのような考え方をしてほしくはないはずです。

・責任転嫁された人を悪く思うようになる

叱るのは、叱る本人（保護者のかた）の意向です。「お店の人に怒られるよ」と言ったところで、お店の人はそんなつもりはないかもしれません。つまり、勝手に他の人を悪者にしてしまっているということ。知らないうちに「あの人は怒る人」なんてレッテルを貼られていたら.....嫌ですよ。

よくあるのは、先生やお店の人、お医者さんなど。でも、実は家庭内でも使うことがあります。たとえば、「片付けないとママに怒られるよ」とパパに言われたこと、ありませんか？あまり良い気はしませんよね。「私ばかり悪者にしないで」と思うかもしれません。本人が意図していないところで、「怖い」「悪い」というイメージをつけるのはやめたいですね。

・叱る時はシンプルに理由を伝えよう

叱る理由がしっかりしているのであれば、人のせいにする必要はないはずです。「道に飛び出すと危ないよ」「叩いたら悲しい思いをするから口で言おうね」など、シンプルに伝えればOK。叱る側もきちんと責任を持つことが大切です。

ただ、「怒られるから（罰を与えられるから）」という理由で行動を正す場面もあります。「お店のものを勝手に盗むとおまわりさんにつかまる」は、これに当てはまるでしょう。特にまだ幼い頃であれば、こういった叱り方も必要になります。でも、いつまでもこの叱り方を繰り返すのはNG。賞罰だけを基準に動くようになってしまい、内面が育ちません。子どもの成長を止めないように、大人も叱り方を考えていく必要があります。

<ベネッセ教育情報サイトより>

今月の絵本

大きくなるということは、水に顔を長く浸けられるようになるということ。泣くのを我慢できるよになつたり。前より高い所に登れるよになつたり。高い所から飛び降りられるよになつたり。こういったことも大きくなったということです。



高い所から飛び降りられるというだけでなく、も大丈夫かどうか考えられるようになることも大きくなった証拠。新しいことが出来るよになつたり、駄目なことをしないよになつたりすることも大きくなった証拠なのです。大きくなる」というのは、体の成長もそうですが、心の成長でもあります。体の変化や年齢を重ねることもあり、能力の変化や心境の変化もそうなのです。目に見えること。目に見えないこと。数えられること。数えられないこと。様々な視点から「大きくなる」ということを描きます。



さあさあはじまるよ、だっこ弁当のはじまりはじまり。まるでミュージカルのようにこの絵本は始まります。まず始めに出てきたのは、海苔のふんどしをまいたおにぎりさん。たちちゃんウイナーはバレリーナ、くるくると回ります。それをレタスが受けて次が始まるのはカリフラワーとブロッコリーのファッションショー。トマトやミートボール、梅干しも登場して、みんなが出揃って最後はやってくるのが、お弁当箱のおべんとうさん。みんなをぎゅぎゅと抱っこしてできるのが「だっこべんとう」、これでお弁当の完成です。お弁当の具材たちがまるで生き物かのように通ったりお話ししたりする様子は、お弁当の特別感を演出してくれているかのようです。絵本に登場する賑やかなお弁当にわくわくすること間違いなしです。

3月の沖縄は自然がいっぱい！！沖縄各地で桜やコスモス、つつじ等と言ったお花が見られます。ぜひ週末のお休みにご家族で見に行かれてはどうでしょうか？もちろん、行かれる際は感染対策を万全にし、お楽しみ下さい。

また各イベント情報などは、コロナの状況に応じて規模の縮小、中止などの変更があるので、各公式サイトから開催情報をお調べしていくことをお勧め致します。

